

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表：令和5年3月27日

事業所名 One step smile宮前教室

		チェック項目			工夫している点、課題や改善すべき点など		
		はい	どちらとも いえない	いいえ			
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	広さは担保できているものの、平日午後や長期休み等は利用者数が集中することがあり、教室内の空間が狭くなることもあるが、けがをしないように声掛け等を行っている。		
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4	人員基準は満たしているが、利用者数に対して職員が不足しているように感じるがあったが、現在は連携を取って改善されてきていると感じる。日によって職員の配置を工夫している。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	洗面所へ行く際は段差があるが、支えや助けが必要な児童に関しては、職員が付き添うように工夫をしている。		
	4	事業所は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	6	1	終業後の清掃や玩具の消毒を行い、日々清潔にするよう心がけている。		
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	目標と振り返りについて理解できていない場合があるので、個々に合わせた進め方をしている。		
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	5	昨年実施し、HP上へ掲載しているが、新しい職員などには周知できていない状況。入社時にお知らせなどの工夫をする。		
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4	2	昨年実施し、HP上へ掲載しているが、新しい職員などには周知できていない状況。入社時にお知らせなどの工夫をする。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	外部評価を受け、結果を知る機会があれば、よりよくするために業務改善できる。取り組んでいきたい。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	4	常に情報共有を行いミーティング等で全体で資質向上を目指している。		
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	3	1	保護者様と面談、連絡を取り合って進めている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	1	ツール使用は現状紙のみとなりツールの使用はない。	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	2	計画に沿った支援ができるよう努力している。また、日々の成長を見守り確認し、計画をできるだけ早く達成できるよう心がけている。		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	常に話し合いを行っている。		
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	個々の状況、季節等を考慮し工夫をしている。		
	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	長期休暇には普段取り入れることがないようなプログラムを取り入れたりしている。また、職員同士事前に話し合い、進めている。		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	2	1	実施できております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			職員間で共有し、確認をしております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	問題点や気づいた点、改善点等は職員間で共有することができている。連絡帳メインで取っている状況にあるので、その他ノートで細かなことを書き出すように工夫する。		
	19	日々の支援に関して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	連絡帳を取り、職員間で見える化を図っており、日々改善に向けて取り組んでいます。		
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	5	モニタリングは行っているが支援計画に活かし切れていないので実施する必要がある。			
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	2	1	参加者は適宜事業所内で判断し出席をしている。常勤スタッフがメインで行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	1	西部療育センターは連携が取れている。その他事業所も連携を取る必要がある。	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、地域の保険、医療、保育、教育等の関係機関と連携をとっているか	1	6	医療的ケア児を受け入れることがある場合は、連携を取っていく必要がある。		
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1	受け入れる場合は連絡体制を再確認する必要があると思う。	
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	園長先生と合った時のみ話ができています。		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互の理解に努めているか	4	3	迎え時に小学校の先生から今日の様子をうかがう時がある。（わくわくお迎えについては情報共有は難しい）		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	3	積極的に連携を取っていく必要がある。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	公園に活動をしに行った際には交流する機会もある。	
	29	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	3	コロナ禍のため参加できていない状況。	

の 連 携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	5	2		送迎時に申し送りしたり、LINEや電話などで適宜お伝えをしている。また連絡帳にも記載をしてお渡し している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っているか	3	3	1	可能な限り教室内での成功事例、失敗事例を共有している。押しつけにならないようコミュニケーション を取っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	3	4		契約時に行っており、事業所内にも掲示をしている。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		必要に応じて行っている。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援しているか		2	5	コロナの関係もあり、開催や支援が難しかったりするが、要望があれば支援や企画を考える必要があるか とと思う。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	5	2		代表者、管理者、スタッフの連携を速やかに取れる状況が作れている。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	1	5	1	ホームページ上にブログを掲載しているが、更新がなかなかできていないので頻度を上げていきたい。活 動内容や状況を保護者と共有できるよう工夫する。
	37	個人情報に十分注意しているか	7			鍵付き書庫・ロッカーを利用し、保管している。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		ホワイトボードを活用したり、工夫をしたうえでコミュニケーションを取るよう心がけている。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか		2	5	コロナ禍ということもあり、地域に開かれた行事に参加するのは難しい状況ではあるが、今後開かれた際 に事業運営を図っていくことは可能かと思う。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知しているか	4	3		職員間での共有はできているが、保護者の方へは契約時や見学时に実施している状況。今後定期的にお便 りなどを作成し、周知できるように心がける。
非 常 時 等 の 対 応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	6	1		訓練実施をしている。また非常時の道具なども準備をしている。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん等発作 等のこどもの状況を確認しているか	6	1		確認できている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		医師ではなく、保護者の方からの連携を中心となっている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有しているか	6	1		作成し共有できております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	6	1		年1回は必ず行っております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に事前 に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイ サービス計画に記載しているか	3	3	1	行政へもアドバイスを頂きながら、計画に反映させております。